2019年度 交換留学報告書

留学先大学	マレーシア科学大学 Universiti Sains Malaysia	留学先国・都市	マレーシア
留学期間	2019 年 9 月 ～ 2020 年 3 月	※コロナウィルスの影響により早期帰国	

学部・研究科	経済学部国際ビジネスと社会発展メジャー	留学開始時の学年	2年生	帰国時の学年	3年生		
留学先学部	School of Management, School of Language						

1.出発準備について

Ⅰ.ビザ取得

(1)取得に要した日数　ビザ申請日から受領まで約 30 日　(2)面接の有無　☐ 有　☑ 無

(3)ビザの種類　入国ビザ、学生 ビザ

(4)取得時期　7月下旬に申請、8月下旬(出発直前)に取得

(5)申請方法(必要書類等)と、困ったこと・気を付けた方がいい事など。

ビザ申請を始めるまでが色々複雑で時間がかかって大変でした。学生ビザ申請で入国ビザを出発前に取得し、マレーシアに着いてから学生ビザを取得します(到着後1ヶ月程)。私は大丈夫でしたが、ビザ申請で使うクレジットカードは高確率で悪用されるので、気をつけて下さい。ビザ申請サイトのセキュリティが弱いそうです。

(6)予防接種の種類(MMR等)　A型肝炎、B型肝炎、破傷風、狂犬病、腸チフス

Ⅱ.航空券

(1)往路　☐ 直行便　☑ 乗継　羽田 空港発　クアラルンプール国際 空港経由　ペナン国際 空港着

(2)復路　☐ 直行便　☑ 乗継　ペナン国際 空港発　クアラルンプール国際 空港経由　成田 空港着

(3)利用航空会社　往路 ： ANA、マレーシア 航空　復路 ： ANA、マレーシア 航空

(4)航空券の種類　☐ FIX(日程変更不可)　☑ OPEN(日程変更可)　☐ FIX/OPEN　☐ 片道　☑ その他

(5)購入方法　☐ 旅行代理店窓口　☑ インターネット　(サイト名： Expedia、Trip.com)
☐ その他　(往復航空券を買っていたのですが、諸事情で帰りは新たに買い直しました。)

2.到着後の手続きについて

Ⅰ.空港から大学までの移動

(1)移動手段　☑ 大学手配の出迎え　☐ 電車　☐ バス　☐ タクシー　☐ 知人の出迎え
☐ その他　( )

(2)所要時間　約 0 時間 15 分

Ⅱ.到着後の手続き

(1)オリエンテーション　☑ 有　☐ 無　(留学生向けの1週間のオリエンテーションあり)

(2)滞在許可申請　☑ 有　☐ 無　(オリエンテーション中に行なう)

(3)留学生向け語学研修　☐ 有　☑ 無　(☐ 学期前　☐ 学期中)　期間:

(4)その他手続き　(オリエンテーションで殆ど全ての手続を行ないます)

3.生活について

Ⅰ.住居

(1)住居の種類　☐ 寮　（寮名：　　）
☑ アパート　☐ ホームステイ　☐ その他　（　　）

(2)シェア人数　2 人（自分は除く）　(3)共有部分　☑ バス　☑ トイレ　☑ キッチン　(4)自炊　☑ 可　☐ 不可

(5)大学までの交通手段と所要時間　(6)個室の有無　☑ 有　☐ 無
☑ 徒歩　☐ バス・電車　☐ 自転車　10～20 分

(7)住居申込方法・時期　（ 大学から紹介されたエージェントとやり取りをしてルームメイトや部屋が決まります。 ）

(8)住居について困った事やアドバイス及びルームメイトについて（国籍や良かったこと、困った事）

1セメ目は日本人、2セメ目は日本人とローカルの子と住みました。国籍や文化の違いによるトラブルはありませんでした。喫煙関係でトラブルになったので、事前にルームメイトが喫煙するか確認しておいたほうが良いです。

Ⅱ.食事

(1)毎日の食事についてあてはまるもの全てに✔
☑ 自炊　☑ 寮食　☑ 大学内学食　☑ 外食　☐ その他　（　　）

(2)ミールプラン　☐ 有　☑ 無　月額（現地通貨）　　（日本円約　　円）
平日【 ☐ 朝　☐ 昼　☐ 夜 】　週末【 ☐ 朝　☐ 昼　☐ 夜 】

(3)最寄りのスーパーやマーケットまでの所要時間
☐ 徒歩　☑ バス・電車　☐ 自転車　10 分

(4)食事について困った事やアドバイス

大学が広いので大学内に色々なタイプのカフェテリアがあります。マレー料理系のカフェテリアだと野菜があまり摂れないので、中華系のカフェテリアに行くと野菜がたくさん摂れて良いです。色々見てみると楽しいです。

Ⅲ.インターネット環境

(1)住居　☐ 有　☑ 無
(2)キャンパス　☑ 有　☐ 無　（ ☑ キャンパス全体　☐ 接続スポット　）
(3)個人契約　☐ 有　☑ 無
ある場合は契約内容について（契約会社、契約方法など）

(3)外出先でのインターネット利用　☑ 有　☐ 無
ある場合はその利用方法について（カフェやお店の無料Wi-Fiなど）

カフェ等は大体無料Wi-Fiがあるので、パスワードを入れれば使えます。パスワードはレシートに書いてあるかお店の人が知っているので、聞いてみると教えてくれます。

(4)携帯電話利用について　☑ 日本の携帯を持参　☐ 現地購入　☐ 使用していない
その利用方法について（契約会社、契約方法、費用など）

日本でスマホのSIMロック解除を行い、ペナンの空港でSIMカードを買った。会社はHotlink、チャット系のSNSが使い放題のプランで8GB1ヶ月RM45（約1200円）。会社はHotlinkが最大手で電波は一番安定している。

4.留学先大学について

Ⅰ.大学の周辺地域

(1)治安　☑ 良い　☐ 普通　☐ あまり良くない　☐ 悪い
注意すべき点

特にペナンは治安が良い方ですが女の子が1人で歩いていると昼であろうと夜であろうとナンパしようとする人が一定数いるので注意して下さい。特に夜暗くなってからは1人で出歩かない方がよいです。

(2)交通の利便性　☑ 良い　☐ 普通　☐ 良くない

(3)主な交通手段　☐ 電車・地下鉄　☑ バス・トラム　☑ 自動車　☐ その他　（　　）

(4)都市部（繁華街）までの所要時間　20 分　（交通手段：バスまたは自動車（Grab））

(5)交通手段に関して注意すべきことやアドバイス

ペナン島には電車が通っていないので、移動は主にタクシーかバスです。タクシーはアプリで呼ぶのが一番確実で安全です。Grabが一番メジャーだと思います。日本に比べるとどちらもかなり安く使えます。

(6)よく利用した買い物やレジャー、医療機関など周辺施設について

Queensbay Mallというイオンが経営するショッピングモールと、食料品や生活用品を主に取り扱うTESCOというところによく買い物に行きました。大学辺りを巡回している無料のバスで行けます。

Ⅱ.授業

(1)履修登録の時期・方法　☐ 出発前　☑ 出発後　☐ 派遣先大学国際室　☐ オンライン　☐ メール等　☐ その他　（　　）

(2)履修の制限

交換留学生は、基本的にどの学部の授業も受けることが出来ます。単位数は1セメスターで9単位以上21単位以下の制限があります。

(3)授業・履修登録で困ったことやアドバイス

School of Managementは留学生がとれる授業が豊富なのですが、他の学部で履修したい専門科目がほとんど無い子が割といたので、何が履修できるのか事前にUSM側に聞いておくとギャップなどが無くなると思います。

(4)語学研修（学期前・学期中）を受けていれば、期間・内容・費用について

(4)履修科目

1	科目名	Operations Management	授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期	企業運営の理論とその方法を学ぶ。理論＋計算 / Fall semester	英語	約 100 名	3 単位
2	科目名	Organisational Behaviour	授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期	組織を動かす際の理論を学ぶ。ケーススタディーで実際の事例に理論を当てはめて読み解く。/ Fall semester	英語	約 100 名	3 単位
3	科目名	Principles of Marketing	授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期	マーケティングの基礎基本となる概念を学ぶ。 / Fall semester	英語	約 100 名	3 単位
4	科目名	Microeconomics	授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期	ミクロ経済。理論＋計算。比較優位、独占など / Fall semester	英語	約 100 名	3 単位
5	科目名	Retailing	授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期	小売業の仕組みを学ぶ。/ Spring semester	英語	約 30 名	4 単位
6	科目名	Electronic commerce	授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期	インターネット経由のビジネスの仕組みを学ぶ。/ Spring semester	英語	約 50 名	4 単位
7	科目名	Chinese1	授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期	基礎的な中国語（マンダリン）/ Spring semester	英語	約 30 名	2 単位
8	科目名		授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期			約 名	単位
9	科目名		授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期			約 名	単位
10	科目名		授業の言語	出席人数	単位数
	授業内容/履修学期			約 名	単位

(5)履修して良かった科目　※記入欄が不足する場合は追加してください。

科目名	Principles of Marketing
理由	教授の授業が特別良かった訳ではないが、教科書のボリュームが多くて新たに学べることが多く、教科書がオンラインのサービスを提供していて、小テストなどで習熟度が確認できて良かった。
詳細（課題、試験等）	中間テスト、期末テスト、小テスト、グループワークの課題（実際に架空の商品を開発し、マーケティングプランをたて、レポートにまとめてプレゼン）
科目名	Electronic commerce
理由	これから更に発展していくであろう産業だから。インターネットの基本的な仕組みも学べたから。
詳細（課題、試験等）	中間テスト、期末テスト、小テスト、グループワークの課題×2（オンラインで実際に製品を売るB to Cと、メルカリみたいなアプリで要らないものを売るC to Cを経験してレポートにまとめプレゼンする）
科目名	
理由	
詳細（課題、試験等）	

Ⅲ.課外活動

(1)課外活動への参加　☑ 有　☐ 無

(2)イベントへの参加　☑ 有　☐ 無

有る場合はクラブ名、イベント名と活動内容を記入

Coffee hour class(放課後にローカルの学生に日本文化を教えるクラスの先生をした)←これはオリエンテーションで案内あり, ICF(日本を紹介するブースやパフォーマンスの披露), Convex, USM50周年記念イベント

Ⅳ.施設・設備

(1)学食・カフェテリア　☑ 有　☐ 無　約10 箇所

(2)スポーツ関連施設　☑ 有　☐ 無　具体的に（ジムやグランド、各種コートなど揃っている）

(3)ライティング・センター等履修サポートサービス　☐ 有　☑ 無

(4)その他お勧めの施設・設備

IMCC…留学に関わることを全てこのセンターが担っており、何か困ったときは行くと必ず誰か対応してくれます
3つある図書館のなかで一番新しい図書館の近くに24hour-roomという夜中から明け方まで開いている自習室があって、試験前や課題提出前で夜通し作業したいときはとても便利です。

(5)現地学生との交流機会　☑ 満足　☐ やや満足　☐ やや不満　☐ 不満

そう感じた理由を教えて下さい。

留学生の生活をサポートする現地学生によって構成される団体があり、必然的にその団体の学生と交流することが多かったから。また、その団体が交換留学生と現地の学生が交流できるようなイベント等を開催しており、実際にそれに参加することで現地の学生とたくさん交流できたため。

Ⅴ.お金の管理

(1)お金の管理方法　☐ 現地銀行口座　☐ インターナショナルカード（国際キャッシュカード）　☐ クレジットカード　☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等）　☑ デビットカード　☑ 現金　☐ その他（毎月2回カードでATMから現金を一気に引き出して少しずつ使ってました）

不便だったこと・お勧め方法等アドバイス

無謀にもデビットカード1枚しか持っていかなかったのですが、カードが使えない等トラブルのことを考えてクレジットやデビット等のカード類は数枚持っていった方が良いです。あとはATMの種類によって相性が悪いカードがあるので、あるATMで使えなくても他のATMで使えることも結構あります。

5.費用について

Ⅰ.留学にかかる費用

※コロナウィルスの影響により早期帰国しているため参考程度としてください。

	内容詳細	期間(ヶ月)	月額	総額(円)	支払方法
渡航準備	往復航空券・燃油サーチャージ・空港使用料	–	–	¥ 146,000	☐ 現金 ☑ クレジットカード
	海外留学保険	–	–	¥ 87,000	☐ 現金 ☑ クレジットカード
	現地保険	–	–	ビザ申請料内	☐ 現金 ☑ クレジットカード
	ビザ申請料	–	–	¥ 33,000	☐ 現金 ☑ クレジットカード
	語学研修代(総額)		–		☐ 現金 ☐ クレジットカード
	その他(予防接種)	–	–	¥ 46,000	☑ 現金 ☐ クレジットカード
現地費用	宿舎費(月額)	7ヶ月	¥16,000	¥ 112,000	☑ 現金 ☐ クレジットカード
	光熱水費(月額)	7ヶ月	¥1,700	¥ 11,900	☑ 現金 ☐ クレジットカード
	食費(平均月額)	7ヶ月	¥25,000	¥ 175,000	☑ 現金 ☐ クレジットカード
	携帯料金(月額)	7ヶ月	¥1,100	¥ 7,700	☑ 現金 ☐ クレジットカード
	インターネット料金(月額)			¥ –	☐ 現金 ☐ クレジットカード
	交通費(平均月額)	7ヶ月	¥6,000	¥ 42,000	☑ 現金 ☐ クレジットカード
	テキスト代、研究費用、学用品(総額)	–	–	¥ 15,000	☑ 現金 ☑ クレジットカード
	日用品(平均月額)	7ヶ月	¥5,000	¥ 35,000	☑ 現金 ☑ クレジットカード
	娯楽費(平均月額)	7ヶ月	¥15,000	¥ 105,000	☑ 現金 ☑ クレジットカード
	旅行(総額)	–	–	¥ 267,000	☑ 現金 ☑ クレジットカード
	Registration/Administration Feeなど留学先支払手数料(総額)	–	–	¥ 42,000	☑ 現金 ☑ クレジットカード
	その他( )				☐ 現金 ☐ クレジットカード
	その他( )				☐ 現金 ☐ クレジットカード
	合計			¥ 1,124,600	

Ⅱ.奨学金について

奨学金名	期間(ヶ月)		月額(もしくは総額)	申請方法
JASSO奨学金	7ヶ月間	☑ 月額 ☐ 総額	¥70,000	国際室
埼玉発世界行き奨学金地域活躍コース		☐ 月額 ☑ 総額	¥200,000	個人
		☐ 月額 ☐ 総額		

6.留学全般について

Ⅰ.留学先

(1)なぜ留学しようと思いましたか？そして、いつ頃留学することを決めましたか？

中学生頃から漠然と海外で生活しながら国籍の違う友人と一緒に勉強することへの憧れがあり、大学に入ったら留学しようとずっと決めていた。全く違う環境で勉強することで、周りから刺激を受けたかった。

(2)留学先大学を決めるにあたり、参考にしたものを教えてください（例：各協定校のHP、先輩の話、交換留学報告書等）

埼玉大学からUSMへ留学する学生は私が初めてだったので、インターネットで他大学の学生の留学体験記やブログを参考にした。

(3)留学申請に必要な語学スコアの向上方法を教えてください。

IELTSで5.0あれば行けるので、図書館で過去問のような問題演習を借りてやれば大丈夫だと思います。

(4)なぜ最終的にこの国、この大学に決めましたか？

ゼミで東南アジアの小売などの研究をする為、マレーシアなら研究テーマや卒論に役立つような調査ができると思ったから。また、USMはマレーシアのもう一つの協定校と異なって主に授業が英語中心だったため。私は経済学部なので、School of Management が有名ということも大きかった。

(5)留学先としてこの大学をお勧めするポイントをあげてください

小さな島だが世界遺産のジョージタウンが近く、イオンが経営するショッピングモールも近くにあって日本のものが簡単に手に入るので生活には困らないと思う。大学内は図書館やカフェなど勉強する環境が整っている。留学生に対するサポートもしっかりしていると思う。親日的な学生が多い。

Ⅱ.まとめ

留学を通して学んだこと、大変だったこと、留学希望者へのアドバイスなど自由に記述。
上記のアンケートで書ききれなかったことなど、たくさん記載してください。

住居の欄にアパート（コンドミニアム）と記載しましたが、はじめの1週間は寮に住んでいたので寮の様子についても補足します。寮は大学内にいくつかあり、私が最初にいたのは最近リノベートされたばかりの寮で、比較的綺麗でした。ただ、それ以外の寮は古くて汚いそうです。良い噂を聞きません…。交換留学生は同じ寮で暮らします。寮の中に留学生がたくさんいるので、友達と英語を話す機会は寮にいたほうがたくさん作れます。基本的に2人1部屋で、1人部屋はありません。ルームメイトは同じ国または近隣の国の子が割り振られます。トイレ、洗面所、シャワーは同じフロアの学生と共用です。（共用する人数は寮の構造によります。）食べ物を調理する場所や冷蔵庫は無いので、自炊や食料の保存は寮だと難しいです。ただ、各寮にカフェテリアがついているので、そこで毎食食べられるようにはなっています。各部屋には大きなファンが天井についているのですが、冷房設備はどの寮にも無いので日当たりの良い部屋だとかなり暑いです。朝晩は気温が下がるので大丈夫なのですが、日中部屋で勉強したりくつろごうとすると人によっては辛いと感じると思います。また、シャワーは水しか出ません。マレーシアといえど夜は涼しいので水シャワーは寒いです。暑い時間にシャワーを浴びるのであれば大丈夫かもしれません。寮は大学の敷地内にあるので、大学のWi-Fiがいつでも使えて携帯の通信容量を気にしなくて良い、という点ではとても便利です。コンドミニアムは基本的にWi-Fiは無いので家でパソコンを使いたい際はスマートフォンのデザリングで対応していました。また、寮は設備が充実していない代わりに賃料がとても安いです。感じ方は人によると思いますが、寮は正直過酷なので体の弱い人は寮ではなくコンドミニアムに住んだ方が良いと思います…。コンドミニアムの1ヶ月の家賃は寮に比べれば高いですが、日本に比べれば安い方だと思います。（部屋によって変動しますが私の場合秋セメは1ヶ月で約15，000円、春セメは約17，000円でした）住みやすさで選ぶのだったら手続も難しくないのでコンドミニアムが良いと思います。

留学を通して大変だったことはたくさんありますが、最初に環境に慣れることが私にとっては一番大変でした。はじめの2週間は分からないことだらけで気分が落ち込むことが多かったのですが、留学生仲間や現地の学生がとても親切でフレンドリーだったこと、そして国際室の先生方のサポートもあり、徐々に元気になりました。USMでは交換留学生は学部関係なく授業を履修できるので、日本の大学の所属学部に関係なく芸術系の実技を取っている子もいましたが、私は語学以外全てSchool of Managementの授業をとっていたので授業で扱う経済系の理論を理解し、更にテストやレポートで点数をとるのが大変でした。これは留学期間を通しての課題で、留学中どうすれば良いのか試行錯誤を繰り返しずっと苦しめられました（笑）。また、授業で出る課題はグループワークが殆どだったのですが、会ったばかりのチームメイトと協力して課題を仕上げるのが想像以上に大変でした。1セメスター目はチームメイトとの連携不足に加えて自分が授業の内容をきちんと理解出来ていないせいでグループワークの課題はどの授業もかなりキツかったです…。2セメスター目はチームメイトの相性が良かったのと、1セメスター目の反省点を活かして自分から積極的にグループワークに関われたのでそこは良かったと思います。英語も、はじめの方はどう言ったら良いのか分からないことが多かったり、相手の言っていることが聞き取れなかったりしてたくさん落ち込みましたが、色々と頑張った甲斐もあってか、時が経つにつれて慣れて自信が持てるようになりました。英語の上達度はまだ何も検定や試験を受けていないので分からないのですが、個人的には上達したと思います。人によってはマレーシアは英語のネイティブではないからあまり上達しなかった、という人もいましたが私は努力次第で上達すると思うし、英語を話しやすい環境としてはマレーシアはとても良いと思います。（ネイティブスピーカーが使うようなこなれた表現を習得したい、とかならまた別ですが、、、）これ以外にも大変なことはありましたが、留学全体を振り返ってみると充実していてとても楽しかったな、と思うので、これから留学を考えているのであれば、是非頑張って行って欲しいなと思います。あと、私はコロナの影響で留学期間を3ヶ月短縮し、USMで受けていた授業を途中でやめるという選択をしたのですが、いつ何があって留学を中止し帰国を余儀なくされるか分からないので、これから留学する予定の方にはいつ帰国しても後悔の無いように留学生活を過ごして欲しいです。

ENGURUSAN
AGEMENT
We SOM